



南翔

令和4年3月11日
文：校長 丹沢伸也

第七五回卒業式実施

「前程万里 夢と希望に

あふれた未来に向かって」

3月10日、第七五回卒業式を実施しました。コロナ禍が収束しないため、残念ながら今年度も来賓の皆様には参加を遠慮していただき、内容も縮小しましたが、全校生徒、職員、保護者が参加し無事行うことができました。



柔らかな春の日差しが差し込み、澄み渡った空気が感じられる中、第七五回卒業式が、厳肅かつ温かい雰囲気の中で行われました。

3年生が掲げた卒業式のテーマは、「前程万里」夢と希望にあふれた未来に向かって。 「前程万里」は、これから先にあふれた希望や可能性があることを意味します。2名の卒業生に卒業証書が手渡され、校長、PTA会長よ



りそれぞれはなむけの言葉、お祝いの言葉が述べられました。続く、在校生代表による卒業生に贈る言葉では、卒業生も、一緒に後輩と過ごしたことを思い返し、胸が熱くなったことと思います。そして、最後に卒業生からの別れの言葉。「種」、「桜散る頃」僕たちのLast Songの2曲の合唱を織り交ぜながら、中学校3年間の思い出を発表しまし

はなむけの言葉

充実した三年間の中学校生活を本日で終え、四月から高校へ進学する二人。まだまだ、勉学に励む日が続きますが、これからは、何のために学ぶか、その意味も考えながら取り組んでほしいと思います。「知の巨人」と評されたジャーナリストで評論家の立花 隆さんが、昨年亡くなりました。立花さんはこれから日本社会を生きていく人への助言として、次のように語っています。

『危機を察知し、小さな失敗のうちに大きな失敗の芽を摘んでいくこと。そのためには、人間の失敗と愚行の集積である世界史を学ぶこと。世界の中の日本の位置を理解し、日本人が独善的にならないためにも大切です』

学ぶ目的のヒントは他にもあります。そんなヒントを探しながら学び続けてください。最後に、私の好きな「Don't worry about failure. 失敗を恐れてはいけない」という英語の一部を紹介します。

「アメリカで百貨店を開いたR. H. メーシーは、7回失敗したあとで、ようやくニューヨークの店を成功させた。

英国の小説家ジョン・クリーザーは、564冊の本を出版する前に、753通の断りの手紙を受け取った。

ベーブ・ルースは、1330回三振をした。だが、714本のホームランも記録している

Don't worry about failure. 失敗を恐れてはいけない。

Worry about the chances you miss when you don't even try.

やってもみないで逃すチャンスこそ、恐れたほうがいい。」

失敗を糧にして、成長と成功があると思います。「高校」という新たなステージで、活躍することを期待します。 校長 丹沢 伸也



た。3年間の思いを堂々と力強い言葉で発表する姿、2人でハーモニイを奏でて歌った合唱は、この1年間の活躍、頑張った姿を思い起こさせるものでした。二人が掲げたテーマの通り、可能性を信じ、夢と希望を持って、高校生活を頑張りたいと思います。

3年生への感謝の会を実施しました

3月4日(金)、生徒会による「3年生への感謝の会」が行われました。卒業式を前に、生徒会役員が企画、準備し、レクレーションや、2年生によるシモンや、2年生による発表等が行われました。あいにく合唱や呼びかけはできなかつたので、トーンチャイムによる森山直太郎の「さくら」の合奏や、1、2年生そして先生たちによるスライドを使った3年生へのメッセージなど、

工夫を凝らして実施しました。会の終わりに、3年生2人がお礼として、3年生2人が1、2年生一人一人に、思い出や感謝の言葉などメッセージをかけてくれました。その言葉も涙を流す姿もありました。みんなが楽しんでいた。3年生への感謝の思いをエネルギーに変え、昨日行われた卒業式に向けて、思いを強くしたいと思います。





3学期・卒業式のスナップ

